

平成 2 1 年度 九州歯科大学大学院歯学研究科概要

1. 目的および使命

歯学に関する学術の理論および応用を研究教授し、その深奥を窮めて広く人類の厚生福祉ならびに文化の進展に寄与することを目的とし、専攻分野につき研究を指導する能力を養うことを使命とする。

2. アドミッションポリシー

本学大学院歯学研究科では、その設置理念や目的に基づき、次のような人を広く求めます。

- (1) 歯学領域を中心とした生命科学の研究に強い興味を持ち、自ら研究に取り組んでいく意欲を持つ人
- (2) 高度な専門的知識と技術を身につけた臨床医あるいは教育・研究者として携わる意思を持つ人
- (3) 地域社会と連携した研究を推進しようとする人
- (4) 国際的な視野に立って世界をリードする研究を推進しようとする人
- (5) 社会人として勤務している傍ら歯学領域の研究に取り組む意欲と能力を持つ人

3. 修業年限

博士課程 4年

4. 専攻別学科目

学科目(分野)	指導教授	主な研究内容
生体材料学	——	<ul style="list-style-type: none">・ 歯科修復物の成形技術と精度および生体適合性の評価・ 電解水の歯科への応用・ 歯科用レーザーの基礎と応用・ 歯科における医療情報システムの構築
頭頸部構造解析学	小林 繁	<ul style="list-style-type: none">・ 咀嚼器官の比較解剖学的研究・ 歯の形質による日本人の起源の解明・ 神経ペプチドの骨代謝に対する影響
口腔組織機能解析学	豊島 邦昭	<ul style="list-style-type: none">・ 味蕾の発生生物学的ならびに味覚受容機構の分子生物学・ ニューロメッセンジャーとしての神経ステロイドの役割解明・ 口腔感覚(味覚、痛覚等)に関与するATP受容体の発現とATPの役割・ 硬組織ならびに口腔粘膜の超微形態学と細胞生物学
生理学	稲永 清敏	<ul style="list-style-type: none">・ 渴きのメカニズム・ 口腔機能と中枢神経系の連関・ 口腔乾燥症の研究
分子情報生化学	自見 英治郎	<ul style="list-style-type: none">・ 骨吸収および骨形成の分子機構の解明・ 転写因子NF-κBの活性化機構とその機能の解明・ 唾液成分と唾液分泌機構の解明・ 口腔癌の顎骨浸潤機構の解明

学科目(分野)	指導教授	主な研究内容
口腔病態病理学	福山 宏	<ul style="list-style-type: none"> ・創傷治癒の機序 ・歯髄・歯根膜の生物学(神経免疫病理学的研究) ・デンタルインプラントロジ - (神経機構の存在とその役割) ・口腔疾患の病因、分子病理学的病態解析
感染分子生物学	西原達次	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔内細菌の全身に及ぼす影響について ・炎症性骨吸収の発現機構の解析 ・アポトーシスの観点に立った口腔内病変の解析 ・分子生物学的手法を用いた口腔組織再生のメカニズムの解析
口腔応用薬理学	——	<ul style="list-style-type: none"> ・新規歯科用薬剤の生物学的安全性の評価 ・歯科用薬剤によるアレルギー 発症 ・有機溶剤の中樞への影響
総合診療学	寺下正道	<ul style="list-style-type: none"> ・医療行動学をベースとした診療システム 患者行動と診療システムとの相似性 ・医療コミュニケーション 患者理解度の分析 ・歯学教育 教育効果向上のための心理テストの応用
齶蝕歯髄疾患制御学	——	<ul style="list-style-type: none"> ・う蝕および歯髄疾患の病態の解析 ・歯髄・根尖性疾患の治療法 ・歯髄の創傷治癒の解明 ・象牙質・歯髄複合体及びセメント質・歯根膜の再生 ・歯と修復材料の接着
歯周病制御再建学	横田 誠	<ul style="list-style-type: none"> ・侵襲性歯周疾患のリスクファクターの解明 ・再生療法およびインプラント周囲炎の治療法の開発 ・外傷性咬合のバイオメカニズムの解明 ・歯周治療、歯内治療時の心身医学
顎口腔欠損再構築学	鱒見進一	<ul style="list-style-type: none"> ・閉塞型睡眠時無呼吸症候群の口腔内装置に有効な下顎位及び姿勢位の検討 ・磁性アタッチメントの臨床的評価 ・顎関節症患者のスプリント療法が脳機能に及ぼす影響 ・上顎義歯床口蓋部の形態が摂食嚥下動態に及ぼす影響
口腔再建 リハビリテーション学	細川隆司	<ul style="list-style-type: none"> ・即時機能インプラント治療に関する研究 ・口腔乾燥症と唾液腺の生理学的機能に関する研究 ・インプラント治療のリスクファクターに関する研究 ・パラファンクションの診断と治療に関する研究 ・口腔関連QOLの評価に関する研究

学科目(分野)	指導教授	主な研究内容
保健医療 フロンティア科学	竹原直道	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔バイオフィルム形成に関与する遺伝子群の解析 ・高齢者を対象とした口腔と全身の健康との関連に関する疫学研究 ・唾液バイオマーカーとドライマウス・舌痛症および口臭症との関連に関する臨床研究 ・エンドセリンシステムをターゲットにした口腔癌および歯周病治療薬の開発
総合内科学	高田豊	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者住民における口腔と全身の関係に関する疫学研究 ・歯科疾患と全身疾患の関係に関する臨床研究
口腔機能発達学	牧憲司	<ul style="list-style-type: none"> ・成長期の顎骨に関する研究 ・小児の咀嚼機能 ・軟骨や歯の石灰化に関する研究 ・歯列弓拡大に関する研究
顎口腔機能矯正学	山口和憲	<ul style="list-style-type: none"> ・開咬の機能的特徴とその発症原因、および治療法 ・口呼吸の客観的評価と歯科との関わりについて ・咬合高径の変化に伴う形態的、機能的適応について ・顎変形症患者の顎口腔機能の評価と機能回復に関する研究 ・三叉神経節を介した骨代謝機構の解明
画像診断学	森本泰宏	<ul style="list-style-type: none"> ・MRIによる顎関節疾患の診断に関する研究 ・MR angiographyによる微細血管描出に関する研究 ・MR sialography の臨床評価に関する研究 ・放射線誘発間期死に関する分子生物学的研究
病態制御学	富永和宏	<ul style="list-style-type: none"> ・悪性腫瘍に対する遺伝子導入療法の開発 ・顎関節炎に対する遺伝子導入療法並びにサイトカイン療法に関する研究 ・超音波を用いた悪性腫瘍浸潤範囲の新規診断法の開発 ・仮骨延長法の基礎的・臨床的研究
形態機能再建学	高橋哲	<ul style="list-style-type: none"> ・顎関節の病態解明に関する分子生物学的、生化学的研究 ・新しい骨造成、顎骨延長法の開発に関する研究 ・口腔癌の治療法に関する基礎的・臨床的研究 ・生体活性型アパタイトコーティングチタンインプラントの開発
歯科侵襲制御学	仲西修	<ul style="list-style-type: none"> ・触覚過敏、痛覚過敏などの難治性疼痛に関する研究 ・疼痛に対する下行性抑制系の研究 ・ストレスの高次脳機能への作用機構と抗不安薬の修飾

